

# 令和 3 年度事業報告

(令和 3 年 4 月 1 日－令和 4 年 3 月 31 日)

## I. 会員数 (令和 4 年 3 月 31 日)

### (1) 名誉会員

令和 3 年 3 月 31 日会員数	4 名	
名誉会員現在数	4 名	(0 名増減)

### (2) 正会員

令和 3 年 3 月 31 日会員数	922 名	
令和 3 年度新入会員数	97 名	
令和 3 年度退会者数	34 名	
内訳	希望退会者	33 名
	物故者	1 名
正会員現在数	985 名	(63 名増)

### (3) 維持会員

令和 3 年 3 月 31 日維持会員数	92 社	
令和 3 年度入会社数	6 社	
令和 3 年度退会社数	1 社	
維持会員現在数	97 社	(5 社増)

## II. 第 68 回通常総会

開催年月日： 令和 3 年 5 月 20 日

開催場所： タワーホール船堀 (オンライン配信)

## III. 理事会、理事・評議員懇談会

### (1) 理事会 3 回開催

- ① 第 1 回   開催年月日： 令和 3 年 4 月 23 日  
          開催場所： オンライン開催
- ② 第 2 回   開催年月日： 令和 3 年 11 月 19 日  
          開催場所： オンライン開催
- ③ 第 3 回   開催年月日： 令和 4 年 3 月 4 日  
          開催場所： オンライン開催

### (2) 理事・評議員懇談会 1 回開催

開催年月日： 令和 3 年 5 月 18 日  
開催場所： オンライン開催

## IV. 定期学術集会の開催

第68回日本実験動物学会総会を下記のとおり開催した。

会 期： 令和3年5月19日（水）～28日（金）  
 開 催： オンライン開催（ライブ配信 19～21日、オンデマンド配信 19～28日）  
 会 長： 今井良悦（武田薬品工業株式会社）  
 参加者： 759人

## V. 定期刊行物の発行

「Experimental Animals」および「実験動物ニュース」を下記のとおり発行し、公開した。

発行年月日	巻	号	備 考
2021年4月1日	70	2	
2021年7月1日	70	3	
2021年8月1日	70	Supplement	Proceedings of the 68th JALAS Conference
2021年10月1日	70	4	
2022年1月1日	71	1	

## VI. 研究の奨励、業績の表彰

(1) 令和2年度学会賞受賞者を表彰した。

1) 功労賞（2名）

岩倉 洋一郎 会員（東京理科大学）

黒澤 努 会員（鹿児島大学）

2) 安東・田嶋賞（1名）

高橋 智 会員（筑波大学）

「Large Maf 転写因子群の機能解析とヒト疾患との関連解明」

3) 奨励賞（2名）

奥村 和弘 会員（千葉県がんセンター研究所）

「多段階皮膚発がんマウスモデルを用いたがん修飾因子の同定」

倉岡 睦季 会員（日本獣医生命科学大学）

「イヌ筋ジストロフィーモデルにおける新規の治療評価指標開発を目指した研究」

4) 2019年 Experimental Animals 最優秀論文賞（1編）

橋本晴夫、江藤智生、山本真史、位高美香、後藤元人、香川貴洋、小島圭介、  
 川井健司、秋元敏雄、高橋利一

Development of blastocyst complementation technology without contributions  
 to gametes and the brain

「生殖細胞および脳に寄与しない胚盤胞補完法技術の確立」

(2) 令和 3 年度学会賞受賞者を表彰した。

1) 功労賞 (2 名)

浦野 徹 会員 (生理学研究所)

八神 健一 会員 (筑波大学)

2) 安東・田嶋賞 (1 名)

伊川 正人 会員 (大阪大学)

「遺伝子改変マウス作製技術の開発と生殖生物学研究への応用」

3) 奨励賞 (1 名)

佐々木 隼人 会員 (北里大学)

「発生工学・遺伝学的アプローチを駆使したマルチドメインタンパク Tensin2 の機能解析」

4) 2020 年 Experimental Animals 最優秀論文賞 (1 編)

菅沼栄介、佐藤 智、本田聡子、中澤温子

A novel mouse model of coronary stenosis mimicking Kawasaki disease induced by *Lactobacillus casei* cell wall extract

「*Lactobacillus casei* cell wall extract により誘導した川崎病冠動脈狭窄の新規モデルマウス」

(3) 名誉会員候補者を推挙した。

名誉会員 (3 名)

浦野 徹 (生理学研究所)

芹川 忠夫 (京都大学)

八神 健一 (筑波大学)

(4) 令和 4 年度学会賞受賞者を選考した。

1) 功労賞 (3 名)

大和田 一雄 会員 (岡山理科大学)

局 博一 会員 (東京大学)

松本 清司 元会員 (信州大学)

2) 安東・田嶋賞 (1 名)

庫本 高志 会員 (東京農業大学)

「疾患モデルラットの原因遺伝子同定研究と新たな遺伝子機能の発見」

3) 奨励賞 (2 名)

Mark Joseph Maranan Desamero 会員 (フィリピン大学)

「疾患モデルマウスを用いた有用農産物の *in vivo* 機能評価」

村山 正承 会員 (関西医科大学)

「疾患モデルマウスを用いた神経変性・免疫疾患の発症機構の解明および治療薬・治療法開発」

4) 2021 年 Experimental Animals 最優秀論文賞 (1 編)

今井 啓之、津田 宗一郎、岩森 督子、加納 聖、日下部 健、小野 悦郎

Establishment of a novel method for the production of chimeric mouse embryos using water-in-oil droplets

「オイルドロップレットを用いたマウスキメラ胚の作出法の確立」

(5) 2021 年日本実験動物学会国際賞を選考した。

2021 年受賞者 (4 名)

インドネシア	: Dr. Hery Kristiana
フィリピン	: Dr. Maria Llaine J. Callanta
スリランカ	: Ms. Risfa Samanudeen
タイ	: Mr. Theerachat Kampaengsri

VII. 研究・調査活動

編集委員会、学術集会委員会、財務特別委員会、国際交流委員会、広報・情報公開検討委員会、動物福祉・倫理委員会、定款・細則・規定等検討委員会、実験動物感染症対策委員会、教育研修委員会、実験動物管理者研修制度委員会、人材育成委員会、将来検討委員会、動愛法等対策委員会、外部検証委員会を設置し、活動を行った。

VIII. 動物実験に関する外部検証

令和 3 年度動物実験に関する外部検証事業として 36 機関（国立大学 11 機関、公私立大学 22 機関、文部科学省所轄外 3 機関）の外部検証を実施した。（外部検証委員会担当）

IX. 外部検証のための人材育成

文部科学省のナショナルバイオリソースプロジェクト「外部検証推進のための人材の育成と活用」課題を推進し、国動協、公私動協及び日本実験動物学会から推薦された外部検証専門員候補者 7 名が外部検証促進のための人材育成講習会を受講し、課程を修了し認定された。

X. 関連学協会との連携

- (1) 日本学術会議、生物科学学会連合及び動物実験関係者連絡協議会の活動に協力した。
- (2) 国内の関連学会・協会との学術・情報交換を進め、その活動に協力した。
- (3) 国際実験動物科学会議 (ICLAS) 及びアジア実験動物学会連合 (AFLAS) における活動を継続した。
- (4) 韓国実験動物学会 (KALAS) など、海外関連学協会との学術・情報交流を推進した。
- (5) 公益財団法人実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンターおよび日本動物実験代替法評価センター (JaCVAM) など実験動物・動物実験に携わる機関の活動に

協力した。

## XI. その他

- (1) 令和 3 年度維持会員懇談会を開催した。(財務特別委員会担当)  
テーマ：「動物福祉と動物本来の生態観察」並びに「再生医療の現状について」  
令和 3 年 11 月 11 日（木） オンライン開催  
参加者合計 82 名
- (2) 第 10 回実験動物科学シンポジウムを開催した。(学術集会委員会担当)  
テーマ：「アメリカでの生命科学研究の現状」  
令和 4 年 1 月 12 日（水） オンライン開催  
参加者合計 137 名
- (3) 実験動物管理者等研修会を 2 回開催した。(実験動物管理者研修制度委員会担当)  
第 15 回 令和 3 年 8 月 2-31 日 オンライン開催（オンデマンド配信）  
参加者合計：175 名（会員 41 名、維持会員団体職員 20 名、非会員 114 名）  
第 16 回 令和 4 年 2 月 4-28 日 オンライン開催（オンデマンド配信）  
参加者合計：185 名（会員 47 名、維持会員団体職員 16 名、非会員 122 名）
- (4) 動物実験の外部検証：令和 4 年度の実施準備に向けた事前説明会を開催した。(人材育成委員会担当)  
令和 4 年 1 月 28 日 お茶の水ソラシティカンファレンスセンター／ライブ配信  
参加合計：188 機関、445 名
- (5) 第 71 回日本実験動物学会総会の大会長を選出し開催概要を決定した。  
会 期：令和 6 年 5 月 29 日（水）～31 日（金）（予定）  
会 場：京都市勧業館「みやこめっせ」とロームシアター京都（京都市）（予定）  
大会長：浅野雅秀（京都大学）